

令和元年度 第6回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和元年9月18日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402会議室

第6回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和元年9月18日（水） 午前9時30分～午前10時26分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 4階 402会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

西岡章寿	教育長	金本一二	委員
片山繁樹	委員	中山由香里	委員
前田純恵	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	中尾善弘	次長兼こども未来課長
西林文隆	次長兼施設整備課長	進藤美穂	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	柴原宏二	社会教育文化財課長
小河秀義	市民協働課長	片山悠太	人権推進課主事
太田雅章	教育総務課副課長		

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

金本委員

6 前回会議録の承認

令和元年度第5回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

(1) 幼保一元化推進状況について

9月3日に一宮南地区幼保一元化協議会を開催し、11点の応募名称の中から「はりま一宮こども園」を園名に選考していただきました。この後、名称の正式な決定等については、担当課より説明させていただきます。

また、今晚、河東地区の幼保一元化説明会を予定しており、順次、山崎町内の地区自治会長を対象に説明会を行っていきます。

(2) 全国学力・学習状況調査結果について

7月31日に文部科学省より「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。それを受けまして、10月に「しそく学力向上検討委員会」を開催し、今後、宍粟市の成果や課題を検証し、学力向上に取り組んでいくこととしています。

(3) スクイム市への派遣及びスクイム市からの訪日団受入れについて

スクイム市への派遣は明日出発式を行い、団長を波賀中学校浅田校長、引率として学校教育課亀井係長とサイモン・エリザベス先生、生徒10名でスクイム市、サンフランシスコに6日間滞在し、9月27日午後8時ごろに宍粟市へ帰ってくる予定となっています。

また、スクイム市からの受入れについては、10月12日から10月16日までホストファミリーの家で過ごし、16日に宍粟市を出発される予定となっています。

(4) 9月議会に上程した条例・補正予算について

9月議会に上程しておりました、幼児教育・保育の無償化にかかる条例の改正、また保育所・こども園の給食費の助成を含む補正予算等について、去る9月12日に採決が行われ可決されましたのでご報告させていただきます。

8 議事

第8号議案 宍粟市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の廃止について

幼児教育・保育の無償化に伴う子ども・子育て支援法の改正による宍粟市立幼稚園保育料徴収条例の廃止に伴い、関係規則を廃止しようとするものであることを進藤教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、同意することが決定された。

委員の主な意見及び事務局の説明

意見なし

9 協議報告事項

(1) 令和元年度 第1学期「いじめ事案」についてについて

資料1「宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について（令和元年度1学期）」により、世良学校教育課長が説明した。

(2) 令和元年度 全国学力・学習状況調査結果公表等について

資料2「令和元年度全国学力・学習状況調査結果公表等のスケジュール」により、世良学校教育課長が説明した。

(3) 令和元年度 スクイム市派遣団、訪問団受け入れの日程について

資料3「第15回宍粟市国際理解交流活動スクイム市派遣事業スケジュール」等により、世良学校教育課長が説明した。

(4) 数学・理科甲子園ジュニア2019の結果について

資料4「数学・理科甲子園ジュニア2019参加チーム一覧表」により、世良学校教育課長が説明した。

(5) 宍粟市立認定こども園条例施行規則の一部改正について

資料5「宍粟市立認定こども園条例施行規則の一部を改正する規則」等により、中尾次長兼こども未来課長が説明した。

(6) 幼保一元化推進状況について

資料6「幼保一元化の推進状況について」により、一宮南地区幼保一元化について、名称の候補が「はりま一宮こども園」に選定されたことから、今後、園章と園歌の選定作業に入っていくことについて、中尾次長兼こども未来課長が説明した。

(7) 小中学校における備品購入・工事の契約概要について

資料7「教育用タブレットPC購入概要等」により、西林次長兼施設整備課長が説明した。

(8) 学校給食における異物混入状況及び対策について

資料8「学校給食センター異物混入状況及び対策（職員研修）について」により、前田教育部長（学校給食センター課長欠席）が説明した。

(9) 東京2020オリ・パラ聖火宍粟市実行委員会について

9月24日に、東京2020オリ・パラ聖火宍粟市実行委員会（第1回）を開催することを、小河市民協働課長が説明した。

(10) 西播磨オータムスポーツフェスタについて

資料9「西播磨オータムスポーツフェスタ2019」により、小河市民協働課長が説明した。

(11) 宍粟市ロードレース大会参加者募集について

資料10「第15回宍粟市ロードレース大会【開催要項】」により、小河市民協働課長が説明した。

(12) 各地域のウォーキングコースについて

資料11「しろうウォーキング」等により、小河市民協働課長が説明した。

(13) 人権シンポジウムの開催について

資料12「人権シンポジウム」により、片山人権推進課主事が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

いじめ事案の件について、4ページの「認知の方法による分類」について、説明があったとおり『アンケートで認知した件数(43件)』が一番多いわけであるが、今つらい思いをしている子どもを今救うということを考えたときに、『教師が子どもの様子から気づき対応した結果、認知に至った件数(6件)』、『児童生徒からの訴えにより認知に至った件数(28件)』が大きな意味があるということを思った。その中でも『教師が子どもの様子から気づき対応した結果、認知に至った件数』が6件ということで、認知を増やしたいなと思っています。一方で、新しい教育改革が始まり、先生方が研修などで多忙になって子どもと共に過ごす時間が減少しているのではないかという懸念もある中で、そういったところを大切にしていかなければならないと感じている。認知件数の総数が113件となっており、先ほどの説明で、学校において積極的な認知をしていただいていると肯定的に捉えているということで、私もそのように思っているわけであるが、その113件について各学校において児童生徒数の違いはあるが、学校ごとに認知件数に大きく差があるのか教えていただきたい。

(世良学校教育課長)

市内でいじめ認知が0件であった学校はない。学校によっては多い件数が報告されているところもあれば、2、3件の報告のところもある。また、113件の認知のうち『児童生徒からの訴えにより認知に至った件数』が28件となっていることについては、県全体と比較すると非常に高い割合となっている。このことについては、先日、兵庫県の担当からも児童生徒が訴えやすい環境にあることについて評価もいただいている。片山委員のご意見のとおり、今後は、『教師が子どもの様子から気づき対応した結果、認知に至った件数』の割合が高くなるよう取組みを進めていきたいと考える。

(金本委員)

いじめの認知について、登下校中のスクールバスの中で事案を見受けることがあるということを知ったことがあるが、そういうところをピックアップできる方法はあるのか。

(世良学校教育課長)

スクールバスの中でいじめが認知された件数についても報告はあがっている。それについて学校も早期に対応していただいているが、教師がいない場所でトラブルが多発することが多いということも聞いており、こういった事案について、いじめ問題検討委員会の中で有識者の意見を聞きながら対策を進めていきたいと考えている。

(片山委員)

給食センターの異物混入の件について、先日の神戸新聞の記事で他市小学校の給食にスライサーの刃が混入していたことが掲載されていた。本日の資料において、9月2日に全調理

員を対象に、調理作業マニュアルに基づく作業・機器の操作技術の向上を目的とした衛生研修会を実施した旨説明があったが、混入があった他市の事案では市の調理マニュアルにおいて調理終了直後に器具を確認することが定められているが、それが徹底されていなかったということであった。特に危険物であるので、研修の大切さも実感する中で、宍粟市においても安全衛生管理の徹底をよろしく願いたい。

(前田教育部長)

宍粟市でもマニュアルをもっており、その中で、器具の使用前・使用後の点検を定めているが、過去には器具の損傷について発見できていなかった事案もあった。その都度安全衛生管理について徹底を図っているが、本日の意見を給食センターに伝え、更なる徹底を図っていきたいと考えている。

(片山委員)

先日、中学校の体育祭を観させていただいて、子どもたちも非常に落ち着いており、いい体育祭だったと感じた。聞くところによると、山崎南中学校では組体操を中止し別の演技に変更され、山崎西中学校では毎年工夫をされる中で今年度も組体操を実施されたとのことであった。神戸新聞の記事で、神戸市の小中学校では骨折等の重傷事故もあったということが掲載されていた。宍粟市では事前に実施の有無を確認されたり、安全面の配慮について指導されていると思うが、実態について教えていただきたい。また、事故の有無についてもあわせて教えていただきたい。

(世良学校教育課長)

市内小中学校 19 校のうち、予定も含め 13 校で組体操を実施している。6 校については組体操を実施しない代わりにマスゲームや他の演技などを取り入れている。13 校については、詳細な実施計画書を作成していただいております。危険な演技はないか、また高いタワーとなっていないか、さらにピラミッドについては、どのような支援をしていくのかなど聞き取りを行っており怪我がないように配慮を行っている。なお、組体操における重傷事故について報告は受けていない。

10 次回会議の招集について

令和元年10月31日（木）午前9時30分から、令和元年度第7回宍粟市教育委員会を開催するとした。

11 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前10時26分終了